

小中学生防災標語コンテスト優秀作品が決定

▽(☎危機管理課 ☎36・7320)

「防災標語コンテスト」の優秀作品が決定し、12月7日に表彰式が行われました。このコンテストは、将来の地域防災力の担い手でもある小中学生の防災意識を高めることを目的に実施。小学生の部560点、中学生の部391点の応募の中から上位の各3点が選ばれました。

最優秀賞の北嶋こころさん(島二中1年)は「ゲームと違って、命はリセットできないことを、工夫して伝えた」と、松本華里菜さん(初倉小4年)は「受賞を聞いてびっくりました」と感想を述べました。
▽「リセットが出来ない命大切に」

(北嶋さん作)
▽「くんれんは何回やってもむだはない」(松本さん作)



コンテスト入賞者の皆さん

川根温泉が温泉総選挙ファミリー部門で5位入賞

☎観光課 ☎36・7394

温泉地の情報を知り、実際に足を運んでもらおうという国民参加型の地域活性化プロジェクト「温泉総選挙2017」において、川根温泉がファミリー部門の第5位を受賞。12月4日に、東京都千代田区で表彰式が行われました。

この総選挙には、全国から83の温泉地がエントリーし、7月から10月末までウェブ投票が行われました。



表彰を受ける川根温泉関係者

「ともしび島田」に厚生労働大臣からの感謝状を伝達

☎福祉課 ☎36・7154

このたび、声のボランティア「ともしび島田」が、ボランティア功労者に対する厚生労働大臣からの感謝状を贈呈され、その伝達式が12月15日に市役所で行われました。

同団体は、広報しまだをはじめ視覚障害者が希望する図書の音訳、朗読会や地域での交流イベントなど、30年にわたり積極的に活動を続けています。
鈴木晴江代表は「音訳は正確さが大切。これを機会に、身を引き締め、頑張りたい」と話しました。



市長から感謝状を受け取る鈴木代表

災害の被災者支援などに関する協定を締結

☎生活安心課 ☎36・7153
☎危機管理課 ☎36・7320

市は、12月15日に静岡県弁護士会と「災害時における被災者支援活動に関する島田市と静岡県弁護士会との協定書」を締結しました。

この協定により災害時には、同会所属の弁護士が被災者の法的問題の解決や、不安解消のための法律相談に対応するなど、市と連携した被災者支援活動を行います。

近藤浩志会長は「これは出発点。協議を重ね、充実した災害体制とし

ていきたい」と話しました。

また12月18日には、福島県南相馬市において、災害時における職員派遣や物資提供などについて定めた「災害時の応援に関する協定書」を締結しました。

桜井勝延南相馬市長は「これまでの職員派遣などの復興支援に対し、新たな形でご恩返しをしていきたい」とあいさつし、染谷市長は「協定締結は、両市民にとって安全と安心をもたらすもので、大変心強く感じます。今後は、連携の具体化に努めたい」と述べました。

静岡労働局と市が雇用対策協定を締結

☎ 商工課 36・7164

11月28日、市と静岡労働局は、雇用に関する施策を円滑かつ効率的に進めるため、「島田市雇用対策協定」を締結しました。

両者は、本協定に基づき本年度の事業計画を策定。今後、若年者や女性、障害者や高齢者、生活困窮者の就労支援や市内企業の人材確保などに連携して取り組みます。

高森洋志静岡労働局長は「魅力ある職場づくりに協力し、環境整備に努めたい」とあいさつしました。

染谷市長は「連携により事業効果

が3倍、4倍になることを期待している」と述べました。



協定書を交わす市長と高森局長（右）

静大附属島田中の生徒が市政への提言書を提出

☎ 商工課 36・7164

12月8日、静大教育学部附属島田中学校の3年生が、市政に対する提言書を染谷市長に提出しました。

生徒たちは、社会科学の授業で経済の仕組みや市の現状と課題を調べ、市を活性化させるための企業設立について検討を重ねてきました。

当日は、生徒を代表して宮村昂さんが提言書を提出。続いて桑原唯歩さん、山本凜さん、大畑香乃さんが、川根地区へのIT企業の誘致や会員制交流サイト（SNS）の有効活用、

商品やサービスのコンサルティング企業の設立などを提案しました。



提言書を市長に手渡す宮村さん

地方自治功労者総務大臣表彰の表彰状を伝達

☎ 健康づくり課 34・3281

管理栄養士の塩澤春美さんが「地方自治功労者総務大臣表彰」を受賞し、12月8日に染谷市長から表彰状が伝達されました。

今回の受賞は、46年間の長きにわたり、栄養改善・食育推進・介護予防など、幅広い分野で活動されたことが評価されたものです。

塩澤さんは「行政や健康づくり食生活推進協議会の皆さんが受け入れてくれたから、辞めずに続けてこられた。後輩も着々と育ってきている

ので、これからも精進したい」と受賞の喜びを語ってくれました。



受賞の喜びを市長に語る塩澤さん

「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」を開催

☎ 生活安心課 36・7144

11月18日、交通安全・暴力追放・青少年健全育成を訴える「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」が、プラザおおるりで開かれました。大会では、暴力追放・銃器根絶・防犯まちづくり宣言の唱和や、青少年育成支援センター運営協議会表彰、青少年メッセージなどが行われました。

第三部の「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会」では、青少年団体などの表彰と、県声掛け運動アンバサダーの藤田弓子氏による講演会

が行われ、参加者は地域の絆の大切さを再認識していました。



安全安心なまちづくりを宣言